

(事業計画書)

特定非営利活動法人掛川市民交流研究会

令和6年度事業計画書

1 事業計画

(1) 市民活動に関する啓発と活動への参加を誘導する事業「掛川塾」(17年目)

掛川の熟年世代を主体とした市民の方々に、協働によるまちづくりや市民活動へ取り組むための情報提供・啓発・指導教育をテーマとして、活動の企画から実践までを1年間の連続講座「掛川塾」を開催して支援する。既に、これまでの1～16期の卒業生約350名のうち大半が福祉、環境、食と農、防災、文化芸術、自治会、まちづくり協議会等の分野で活躍中である。昨年度17期生も13名が卒業して、各々の活動に取り組んでいる。

(2) 「第1回ボッチャ交流大会」の実施

障がい者スポーツとしてパラリンピックの正式種目でもある「ボッチャ」はまだまだ認知度が低いですが 令和3年度は、障がい者・子供・高齢者各1名でチームを作り6チームで第1回ボッチャ普及大会を開催し大きい評価を得た。令和4～5年度は、それぞれボッチャ普及大会を開催し、障がい者、子供を含む高齢者約70名の参加を得て16チームで盛大に実施することが出来た。掛川市では、最近、地区で開催したり、計画したりするまちづくり協議会もぼちぼち出てきています。令和6年度は、掛川市民(高齢者)を主体とした誰でも参加できる第1回ボッチャ交流大会を開催し 継続的にボッチャ大会を実施出来る体勢をつくりつつ広く普及させ定着させる為の一步としたい。

そこで今年度から 高齢者(65歳以上)が主体で、障がい者・子供(小4年生以上中2以下)・在住外国人・子育て中の人(3歳以上9歳未満子)のいずれか1名以上を含めることが出来る4人(ゲームは3人の団体戦1名は代表者と補助者等で交代可能)によるチーム大会とし、いろいろなコミュニティーに参加(横串を指す)を促した交流大会とし、将来的には、あらゆるコミュニティーから参加できる5名の地域・団体対抗大会を毎年開催し、市民ぐるみで楽しめる共生社会の実現のために寄与できればと思います

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
①市民活動に関する啓発と活動への参加を誘導する事業	・シニアを主対象の人材育成講座「掛川塾」	4/24～ 2/26 (11回)	たまり～な	143人	掛川塾生 200人	500
②市民活動を行う団体相互及び一般市民との交流・連携を促進する事業	・「第3回ボッチャ普及大会」の実施	10/29	福祉活動館	延べ 50人	参加者 70人	30
③市民活動を行う団体への中間支援事業	・実績なし			人		
④その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	・実績なし					